



長 崎 県
中小企業家同友会

DOYU

ニュース
21

E-mail jimu@nagasaki.doyu.jp
U R L http://www.nagasaki.doyu.jp

本部事務局 長崎市栄町1-20 大野ビル5F ☎(095)822-0680 FAX (095)824-4623

「私たち中小企業家が長崎を牽引していく！」
～地域と共に生きる長崎同友会 会勢600名を達成しよう!～

2015年 役員研修会 開催!!

日時：2月28日(土) 会場：諫早観光ホテル 道具屋

テーマ：「役員としての心構え」

報告者：中小企業家同友会全国協議会 専務幹事 松井 清充 氏



7年間のブランク後、一昨年、昨年と開催した役員研修会を3年連続で今年も開催致しました。2月28日、年度末で大変忙しい中での開催となりました。中小企業家同友会全国協議会(中同協)松井専務幹事をお招きして「役員としての心構え」と題して90分間の報告をいただきました。①情勢・時代認識(立ち位置を明確にもってブレない経営を) ②なぜ同友会はできたのか(1947年 中小企業こそ日本経済の主人公との自覚と使命感のもと全日本中小工業協議会が発足し、10年後の1957年日本中小企業家同友会(現東京同友会)が誕生) ③同友会をつくった先輩は何をしたのか(経営者の責任を明確にした) ④同友会理念とは何か(三つの目的、自主・民主・連帯の精神、人間尊重から「地域や国民のために」)等についてまず詳



しく説明していただきました。

同友会役員は報告の内容を良く理解し、実践して会員の手本にならなければならないとの報告があり身の引き締まる思いでした。私に役員としての資質が不足している事が明確になり、恥ずかしさと会員さんに申し訳ない気持ちになりました。しかし、結果的に役員を引き受けた以上は一生懸命頑張っている姿だけでも見せるべきだと思いました。

その他全国の同友会会員企業の実践事例を多く報告いただき驚きとヒントの連続でした。

決起懇親交流会においては各委員会の抱負と決意が力強く発表され、参加された役員の方々の明るく前向きな姿勢に長崎同友会の発展を感じました。

来年度の開催についても開催日、参加費、研修内容

目次

2015年 役員研修会 開催報告	1	島原支部 経営指針作成勉強会 報告	15
2月例会報告	2	第6回 増強ウィーク 開催報告	16
第4回 経営指針策定セミナー 参加報告	9	会員活躍	16
長崎ウエスレヤン大学との合同ワークショップ開催 参加報告	10	事務局企業訪問	17
中村こずえ会員 他県同友会報告紹介!!	11	入会・複会・交代会員紹介	18
(有)山崎マーク 第27期 経営計画発表会 参加報告	12	4月総会・例会案内	20
第2回 中同協4委員会合同研修・委員会 参加報告	13	理事会議事録 抜粋	21
松浦市中小企業振興基本条例制定記念講演会 報告	14	会員消息・会員数	22

等も踏まえ多くの方に参加いただける場にしたいと思いました。

「私たち中小企業家が長崎を牽引していく」のスローガンの実践実現の為に、まずは役員の方が中心となって長崎同友会を牽引していく事が必要だと思いまし



た。研修会参加率27%を50%以上に…頑張りましょう！

(文責 副代表理事 金井 政春)



長崎支部 浦上地区会 例会報告

日 時	2月24日(火) 午後6時30分
会 場	ギャラリーヘキサ
テ マ	「社員が辞めない会社作り」 ～一人ひとりが社長の意識を持って仕事をする～
報 告 者	(株)地中海 取締役 宮崎 涼子 会員(長崎支部 出島地区会)



宮崎さんは24歳の時に夫と共に花の苗などを販売するお店を起業され、しばらくして自分が住んでいる地区の不動産物件の管理を行うようになり、夜に一軒一軒小さな息子さんの手を引きながら家賃の集金をするなど、その誠実な仕事ぶりから少しずつ管理物件を増やされ、28歳の時に現在の主力商品の一つである建売住宅の販売を始められました。その後もバブル経済や売上の減少から倒産の危機もあったそうですが社員の頑張りもあり、苦難を乗り越えながら業績を回復され去年は最高の売上を上げることが出来たそうです。

宮崎さんの外見からは見て取ることは出来ない多くの苦労をしながらも常に前向きな姿勢で経営をおこなわれ、報告のテーマになっている「社員が辞めない会



社作り」については、今まで求人を出したことは無く地中海で働きたいという思いを持って来た人だけを採用し、安定した収入を得るための不動産取得の援助や社員一人ひとりが経営者という意識をもって働ける環境をつくる為4つある支店全て独立採算制で売上もきちんと分配され財務内容も透明化をしているそうです。豊富な経験を活かすことが出来るため定年も無いなど、社員が安心して働ける仕組みづくりもされています。長く働いていることで、お客様も安心して任せてくださるそうです。

グループディスカッションでは「社員が辞めない会社づくりには、何が必要だと思いますか?」というテーマで、人間関係や会社で自分の存在価値を如何に見いだせるかなど賃金や待遇面だけではなく、やりがいや働きやすさなども大切ではないかという意見や社員一人ひとり辞めない理由は違うが如何に経営者が社員としっかりコミュニケーションをとり、社員の考えを理解しトラブルの防止や改善策をおこなえるかが重要ではないかという意見もあり良い会社づくりのヒントを得ることが出来た例会となりました。

(文責 山口 善也)

長崎支部 出島地区会 例会報告

日 時	2月19日(木) 午後6時30分
会 場	メルカつきまち 5階ホール
テ ー マ	元気な企業の経営者が語る人生哲学、事業観、企業観
報 告 者	ダンレイ(株) 長崎支店 相談役 木村 操 会員(長崎支部 浦上地区会)



報告者は会歴25年浦上地区会会員の木村 操さんです。木村さんの報告を聴こうと、ダイヤモンドクラブメンバーが11人も参加しました。多くの先輩方の参加で感謝の念と更なる緊張を抱いたと、懇親会後の帰りのタクシーの中で吐露されていました。木村さんはシャイで、自分の会社のこと、自分の経営のことを周囲に語るような人ではなかったもので、初めて、木村さんの経営スタイル、経営力を知った方も多かったようです。

木村さんはダンレイ(株)長崎支店相談役とダンレイ中央(株)代表取締役社長を務められており、両社を健全な企業へ育てていながらも、本人は至って謙虚。“社員が良く働いてくれるから”“社員の御蔭”と社員への感謝の言葉が多く聞かれました。又技術力が評価され、お客様からの指名で多くの仕事を依頼される状況にも、“当たり前のことをコツコツやっただけだ”と控えめながらも、“難しい仕事大歓迎”と話されるなど自社の技術に自信を持たれている様子も見られました。

事前のインタビューの際、次のような心情を語られていました。「自分は家族大事で、家族の為に働いている。同じように社員にもそれぞれの家族を大事にす

るよう願っている。そして家族を大事にする社員を、そしてその家族を守るために、自分は経営者として、この会社の経営を如何に行うべきか真剣に考えた」と。木村さんの経営者としての原点がここにある。自称クソ真面目と称する木村さんの真骨頂がここにある。

今回の例会で特徴的なことは、テーブルからの質問が興味本位の数字に関することがなかったことです。それだけ経営に関する事で大事な部分に気づかされたからだと感じました。又自分が経営者として育っていく過程で同友会の存在があることも語られていました。出島地区会で報告いただいたことに感謝します。

(文責 福井 義憲)



大村支部 例会報告

日 時	2月19日(木) 午後7時
会 場	長崎インターナショナルホテル
テ ー マ	「社員教育と言われても・・・」 ～ニコットな社員とのつながり出来てますか?～
報 告 者	ニコット・サービス(有) 代表取締役 江口 陽一 会員(佐世保支部)

昨年11月、12月の例会に続き、今期3度目の座長制を取り入れた今月の例会は、佐世保支部よりニコット・サービス(有)の江口さんを報告者、県情報広報委員長の永末さんを座長としてお迎えしての開催となりました。

江口さんは高校卒業後、国鉄職員、民間土木会社を



経てニコット・サービスを立ち上げました。そのソフトな社名からは想像がつかないのですが、主にガードレールの設置や補修等を請け負う、ニッチな分野に特

化した土木事業を展開されているそうです。

設立からの経緯をさまざまなエピソードを交えながらお話いただきましたが、印象深かったのは報告中、社員さんのほとんど(全員?)の名前を愛称で呼んでおられたこと。それだけで社員さんと非常に良いコミュニケーションが取れていて、風通しの良い社風をお作りなのだろうと窺い知ることが出来ました。「謙虚」という言葉を随所で使っていらっしゃるのも印象的でした。「すごい人ほど謙虚」という表現を使っておられましたが、経営者として日々活動する中で、ともしれば忘れがちなこと。謙虚に学び続け、成長し続けることが大事なのだと感じました。

今回の報告テーマとなっている社員教育ですが、特別なことは何もやっていないとのこと。それなのに会社がうまく回っているのは、人材に恵まれているからだそうです。社長が指示しなくても、社員さんが率先、自立して仕事をしてくれる、自分は本当に幸せであるとの言葉は、社員さんとのコミュニケーションが円滑



に出来ていることの裏返しでしょう。

今年1月に起きた業務中の事故ですらも教訓とし、前進する江口さんのバイタリティがあれば、五年後に運動会の出来る会社を目指すという目標も必ずや達成できるのでしょう。

(文責 西 隆治)

諫早支部 例会報告

日 時	2月24日(火) 午後7時
会 場	諫早観光ホテル 道具屋
テ マ	「わが社の人材育成の考え方は」 ～今出来る人材育成の基本と今後の対応について～
報 告 者	チェンジコンサルティング(同) 業務執行社員 宇土 敏郎 会員(大村支部)



今月の例会は、同友会活動において三本柱の一つである経営指針づくりについて、大村方式と言われる手法を用いて、大村支部経営指針づくり副委員長をされている宇土敏郎さんに報告していただきました。

宇土さんは、もともと大手複写機メーカーのSEとして従事されており、そこでの問題解決の為の議論や、経営者と経営課題を共に考える事が好きで、また経営者から感謝された事などから発起し、経営コンサルタントへの道をスタートされます。

1年間、経営コンサルの育成を受けますが、はじめの頃、経営者とはこうでなければ!という強い想い(誤



解?)のままに独自のコンサル論を展開されていたそうで、「当時は理論で経営を語る、頭でっかちのひどいコンサルタントだった」と振り返られていました。その後、自分の仕事の在り方に疑問を持ち、一時はコンサルタント業を辞め、会社役員として建設会社に経理として勤務されるものの、バブル崩壊と共に徐々に仕事なくなるにつれ、財務の難しさや人事管理の本当の意味での必要性を体験され、「今なら経営者の気持ち理解できる!」と実感。再び経営コンサルタントを再開されます。

「自分の存在意義は、経営者の良き相談相手・仲間であり続ける事。」「自分の利益より相手の利益をまず優先し、どんな場面においても人間関係を大切にしておく事、少しでも経営者の良き理解者となり一緒に悩み、解決の方法を共に考える事が日々楽しい。」と締めくくりました。

今回のテーマである「人材育成の考え方」については、我々経営者にとってとても興味深く、また大きな課題でもあることから参加者全員が宇土さんの話に聞き入っていました。エゴグラムやTA分析などを用い



てその人の心の状態がどうあるのかを理解する事の重要性や、社員さんの欲求の話、段階的な育成計画の話、

人間の心の要素の話など内容は多岐にわたり、参加者の皆さんからとても参考になったという声が多数聞かれました。

印象的だったのは、「人材育成の前にまず会社の雰囲気が悪いと絶対ダメ！」と言われた言葉。会社の雰囲気は経営者が作っているといっても過言ではありません。どうしたら社員さんが気持ちよく働けるか、会社が一丸となって同じ方向を向いて歩いていく為に、まずは経営理念・経営指針を示そうと思いました。

(文責 友永 俊介)

島原支部 例会報告

日 時	2月19日(木) 午後7時
会 場	HOTEL シーサイド島原
テ ー マ	「同友会の活動を知ってもらおう！」 ～同友会活動をよく理解して会社経営に反映させよう!～
報 告 者	上田・横田(耕)・坂田・落水・三田・山口・敷島・横田(健)・大町・池田・荒木・梅澤・永吉、および県フォーラム・全国三大行事の参加者 (島原支部長・副支部長・相談役・ビジョン委員長・政策委員長・経営指針委員長・共育委員長・仲間づくり委員長・情報広報委員長・総務委員長・例会委員長・大会参加者)



今月の例会は、趣向を変え、自分たちが参加している組織『同友会』とはどんな『秘密結社なのか』を知ってもらい、地域のゲスト経営者さん達と一緒に同友会の楽しみ方について学ぶという趣旨のもと開催されました。

27名の会員と12名のゲストを前に上田支部長をはじめ10名が登壇。同友会で学ぶ意義やその魅力について余すところなく語っていただきました。

まずは、池田仲間づくり委員長作成のDVDを上映。本多副委員長による紙芝居で、同友会は荒波の中で学び合いながら方向性を定める羅針盤であり、同友会の存在意義、理念、組織、例会等の行事とその目的を説明していただきました。スタイリッシュな映像とわかりやすい解説でゲストへの掴みもバッチリ!?

続いて横田経営労務委員長が経営指針書作成セミ



ナーを紹介。北尾副委員長から経営指針とは経営の羅針盤であることや経営理念から分析、実行までの7個のステップについて説明いただきました。経営指針導入の体験談として敷島さんからは、社員を巻き込むことの重要性等率直なご意見をいただきました。支部で熱を帯びてきた経営指針書作り。まだ作っていない私としては焦ります!

永吉例会委員長は、例会の目的として「良い例会よりも良いプレゼンに」と、例会で報告を行うことは様々なスキルの向上につながることを、例会参加のメリットとして「進化し続ける世界で唯一の辞書」、「学びが三つの目的につながる」とステキなフレーズを連発して、例会が実践的な学びの場であることを熱弁。山田さんから昨年5月の報告体験談としてさらなる向上を誓う熱い思いをいただきました。私も昨年11月に例会で

報告をさせていただいたとき以来、「次はもっと良い報告を」という思いを持ち続けています。他の方もきっと同様の思いでしょう！

永吉杏奈さんからは全国大会に参加した体験談を、横田副支部長からは2013年度経営フォーラム(島原)実行委員長としての体験談を。さらにお二人からは大会を通じて知り合った方との新規コラボ事業が進行中であることをご披露いただきました。

ト리는上田支部長。島原支部は長崎県で一番若い人が多い、おそらく日本一若く活気に溢れた支部である、学びとフィードバックの重要性等々、島原支部の良さや同友会で学ぶ意義についてゲストに向けて最終アピールしていただきました。支部長の熱い思いはゲストの皆さんに伝わったはずです！

例会終了後はゲストを交えた懇親交流会。入会を希望される方も現れ、盛会のうちに終了しました。

同友会プレゼンのような例会でしたが、大勢で盛り



上がった、ゲストの方々に好評だった、入会に繋がった、会員の刺激になったと好評でした。私もまだまだ同友会を使いできていないと感じた次第です。

(文責 梅澤 浩)

佐世保支部 例会報告

日 時	2月20日(金) 午後6時30分
会 場	アルカスSASEBO
テ ー マ	「大変」を乗り越える！
報 告 者	(株)長崎地研 代表取締役 村山 隆之 会員



今月の例会は、伊王島温泉掘削工事等で知られる(株)長崎地研 代表取締役 村山 隆之さんに登壇していただきました。

お父様がボーリング業として起業(個人経営)され、昭和50年4月ご自身は、卒業とともにその会社に就かれました。個人経営時代は、雨が降ると休み、休みが決まっていない労務状態。親族ばかりの中での仕事で親族間での愚痴。遠距離の長期出張で辞めていく若者。打開すべくして昭和54年11月に法人化。当時は、自ら現場にて機械操作等を行い地熱発電用の深井戸ボーリングや温泉掘削を北は北海道から南は鹿児島県まで手掛けられていました。

そんな矢先、平成2年6月頃より体調が悪くなられ



平成4年4月3日、同年6月8日の計2回久留米大学病院にて約9時間の心臓手術(人工弁置換術及びペースメーカー植え付け術)という九死に一

生という「大変」な経験をされました。

術後は、無事に元気になりました。しかし退院して会社に戻ると大手の顧客を無くし仕事がもらえない「大変」な状況に。そんな状況をなんとかしたいという村山さんは、現場に出られなくなった身体状況をプラスにとらえ営業や経営といった業務を猛勉強されました。平成7年10月、佐世保支部設立と同時に同友会に入会し、「よい会社を作ろう」「よい経営者になろう」「よい経営環境を作ろう」という三つの目的に向かって猛勉強中です。また、平成14年4月には職場に教養をという思いから佐世保市倫理法人会に入会。現在、ライフワークとして障がい者活動を行い、長崎県身体障がい者福祉協会連合会副会長、佐世保市肢体障がい者協会会長、佐世保市身体障がい者団体連合会会長と精力的に様々な団体の役員を務めておられます。

また、佐世保支部では唯一早くから経営計画発表会を平成8年10月より毎年継続されています。村山さんは言われています。社長(トップ)が継続して毎年行うことにより、仕事が難く流れるようになります。問題があれば、その点を修正する計画書に変更。村山さんを見習い今年度佐世保支部は、経営計画発表会を12社が予定されています。

今回の村山さんの報告は、35歳で心臓の病気というピンチ・時を同じくして会社の方も仕事がないというダブルピンチの「大変」な状況を乗り越えられた貴重なお話でした。このような病気になったことをプラ

スに捉え、物事にたいしてポジティブな行動がその後の生き方にとって良い方向へ向いていったと思います。その中で、同友会での学びがご自身にとって大きな原動力となっていたことを感じました。

久々の重鎮村山さんの報告ということで、他支部からの参加者、オブザーバー含め総勢50名を超える大変な盛況ぶりでした。若手経営者や入会されて間もない会員にとって、勇気と力をいただいた報告でした。

(文責 豊福 和明)



北松浦支部 例会報告

日 時	2月26日(木) 午後7時
会 場	池野酒店 セミナー室
テ ー マ	「中小企業はこうして生きていく」
報 告 者	佐世保コンベンション協会 副会長 とおだ&ソリューション(同) 代表 遠田 公夫 氏



今月の例会は、元ホテル経営者で現在、佐世保コンベンション協会副会長の遠田公夫さんをお招きし、「中小企業はこうして生きてゆく」というテーマで、遠田さんの実体験を元にした知恵満載の経営手法を報告していただきました。遠田さんは、佐世保市内で34年間、盤石のホテル経営と共に街作りや佐世保観光の活性化に尽力、事業承継を終えた今も、各界でアクティブに活動中です。

街の活性化とビジネスは運命共同体と考え、街作りにも多くの企画を提案、その中で、人脈という大きな財産を得られたそうです。また、経営者としても家業



のホテル業の生き残りを掛けて、様々な仕掛けと工夫を実践し、黒字経営を続けられたパワフルな報告をいただきました。

「社員は経営のパートナー」「全ての社員にスポットライトを当てる」「お金をかけずに知恵を出せ」「街の活性化は事業の活性化につながる」「クレームは、社長、幹部の責任」「スタッフが褒められる＝経営者の喜び」「前向きに誠実に動けば、運が巡ってくる」など、様々なキーワードは、説得力があり、大きな勇気と気付きを得ることができました。

グループディスカッションでは、「少子化の時代、中小企業の生きるポイントとは…」というテーマのもと、活発なディスカッションが行われました。遠田さんのお話にもあったように、差別化のための知恵を出す、生き長らえる為に「ひと手間」をかける、社員を大事にする等、多くの動機づけにつながる意見が出ました。短時間の中に多くの貴重なエッセンスが散りばめられた、大変有意義な例会でした。

(文責 吉永 満也)

広告募集

<4cm×9cm>

複数月	6ヶ月	12,000→10,000
	4ヶ月	8,000→7,000
割引	3ヶ月	6,000→5,000

V・ファーレン長崎



応援マツト

ダスキン栄進 電話 095-823-7633

瀧川 隆 会員(長崎支部 出島地区会)

五島支部 例会報告

日 時	2月17日(火) 午後6時30分
会 場	福江総合福祉保健センター
テ ー マ	人生の大海原。失敗も成功もまた楽し！ 笑顔で感謝の気持ちが福を呼ぶ ～目の前に現れた救世主、同友会はパワーの 源と羅針盤だ～
報 告 者	スギセイフーズ(有) 代表取締役 杉本 誠二郎 会員 (諫早支部)



今回は、県仲間づくり委員長の杉本 誠二郎さん(諫早支部)に報告をしていただきました。

大手調味料会社から独立し、中国での事業展開という野望に燃えて渡中。そこでは夢のような好条件の話ばかりを聞かされたり見せられたりして、実際の事業活動はまだ何も始まっていないにも関わらず杉本さんの頭の中では夢の世界に陶酔し、あるいは麻痺してしまい結局失敗をして帰国します。

帰国後ある会社を訪れた時、そこの社長に「杉本さん、あんた変わってしもうたね。今日は帰らんね。」と言われてしまい、理由もわからず仕方なく帰ろうとした杉本氏の背中にも今度は、「今日から毎日『ありがとうございます』を千回言わね。」と声をかけてくれたそうです。

会社をどう立て直したら良いかもわからず途方に暮れた状態だった杉本氏は、藁をもつかむ思いで、車の



中で毎日千回『ありがとうございます』を唱えます。そうして気づいたのが、「そうだ、自分は失敗を全て他人のせいにして恨みや憎しみを抱いてそれを口にしていた。感謝の気持ちが足りなかった。」と。

報告後のグループディスカッションでは、「あの社長さんは凄い」とか、「ありがとうございますの言葉は恨みや憎しみを消してくれるのだと思った」との感想や、家族やまわりの人に感謝したいなどの意見が出て、参加者の顔もおのずと笑顔になり、テーマである「笑顔で感謝の気持ちが福を呼ぶ」を実感した例会になりました。

あらためて、いつお会いしても相手を暖かい笑顔で包んでくださる杉本さんの報告に心から「ありがとうございました。」

(文責 辻 千穂子)

青年経営者会 例会報告

日 時	2月27日(金) 午後7時
会 場	プライムステージ
テ ー マ	「今まで、そして今から」
報 告 者	(有)月光スタジオ 代表取締役社長 大久保 誠 会員

今月の例会は、長崎支部浦上地区会の久保誠さんに報告していただきました。「今まで、そして今から」とのテーマのもと、祖父の代から受け継がれて来た月光スタジオの歴史。修業時代のエピソード、修行を終えて帰ってきてからの奮闘について語っていただき、



「そして、今から」の展望について報告していただきました。

報告の後には、質疑応答で50分では足りないくらいに盛り上がり、有意義な例会となりました。

また、例会終了後の懇親会をイタリアンバルchinoにて行い、この場でも同友会の会員同士だからこそこの相談などがあり、楽しくも学び多き交流とすることができました。

報告してくださった大久保さん、本当にありがとうございました。

(文責 飛田 精一)



第4回 経営指針策定セミナー 参加報告

日 時：2月14日(土)・15日(日) 会 場：いこいの村長崎



1、経営指針の概要

講師) 諫早支部 松田 卓 会員

○「やってやれないことはない、やらずに出来る訳がない」というコールに感動し涙が出そうになりました。見栄、羞恥心を捨て本音でやらないと経営指針は作れないと思いを強くした。

2、実践企業報告

講師) 大村支部 宮田 正一 会員

○変化適応業(環境適応業)の重要性を学んだ。また、理念が一番大事であり、伝わらないと意味がない・伝え続けることの必要性・人から始まり最後も人であり、会社はお客様と社員のためということを確認できた。

3、経営方針を考える

講師) 大村支部 宇土 敏郎 会員

○経営指針書作成の手引きを、とても簡潔にしかも解りやすくレジュメ・ワークシートを作成していただき、今まで難しく考えていたことが理解しやすく、受講された方がセミナー中にここまで作成でき、更に発表までされたのには正直驚いた。また、「業界審査辞典」という書籍の存在を教えて頂き、自社の外部環境を詳しく調査する方法を学んだ。

4、実践報告Ⅱ

講師) 長崎支部 吉澤 健 会員

○“仕事は楽しく経営は厳しく／TTP”をモットーに目標を細かく数値化し、社員一人ひとりと共有し実行していくことで、全スタッフのモチベーションが上がる手段になるということを学んだ。また、貴重な社内資料を拝見させていただき、ここまで数字を理解しないといけないと痛感できた。

5、経営計画を作る

講師) 大村支部 宇土 敏郎 会員

○具体的に計画を作成するということが初めてだったが、今何をすべきか・自社の置かれている立場が理解でき本当にためになった。

また、参加者の計画発表会はとてもすばらしかった。

6、財務知識の活用

講師) 大村支部 宇土 敏郎 会員

○苦手な数字を詳しく解りやすく説明いただき、今の自分に一番必要なことだと確信できた。時間は掛かるが得意分野にしていきたい。

7、次回第5回セミナーへの要望／決意

○・次回もぜひ参加したい。・会場の環境、食事懇親会も素晴らしかった。・名札が有ると良いと思った。



・これまでのセミナーの中で最高だった。・次回セミナーまでに経営計画発表会を実施し、2冊目の経営計画書作成に向けて次回も参加する。・第4次ビジョンに向けた実行計画を作成し、次の委員長へ引継ぐと同時に協力していく。

吉澤委員長はじめ経営労務委員会、事務局の皆様本当に有難うございました。

(文責 佐世保支部 経営指針づくり委員長 豊福 和明)

長崎ウエスレヤン大学との合同ワークショップ開催 参加報告

日 時：2月27日(金) 8時50分～16時30分



諫早支部では、昨年長崎ウエスレヤン大学と包括協定を結びました。その一環として、今回、大学側と諫早支部を中心に長崎県中小企業家同友会との合同ワークショップが開催されました。

はじめに、開会礼拝で讃美歌を合唱する事から始まりました。次に学長挨拶・学部長挨拶と進み、まずは、大学側から「就活する！就職するとは？」というテーマで、キャリア支援センター長の矢島 邦彦さんより講演いただきました。

講演内容は、

1. 2016年3月卒業予定者の就活スケジュール
 2. キャリアを考える（～就職の視点から～）
 3. 就活・就職の意味
 4. 就職力とは（就職適応性）？
 5. 多様な機会を提供する大学（勉強の特質）
 6. 直前対応（戦術的対応と振り返りの視点）
- でした。

全体的に学生に向けて話をされていましたが、我々企業側としては、現在の学生がどのような意識をもって就職に望んでいるのか、大学側がどのような意識で就職活動させているのかを考え直す良い機会だったと思います。

休憩をはさんで、「中小企業の魅力・地元企業に就職するメリット」というテーマで県相談役理事の松田一成さんに講演していただきました。

講演内容は、

1. 中小企業家同友会とは？
2. 企業での教育の概念
3. 中小企業と大企業の就職比較



4. 企業が見る学生とは 企業が見る学生の資質
 5. 企業を選ぶ基準
 6. 企業が求める新入社員像
- でした。

さすが、松田相談役、聞いている学生や先生にもわかりやすく、中小企業のこと、同友会のことを説明されていました。

昼食前に、学生との懇談会がありました。そこでは、各テーブルに同友会の会員がつき、2・3名の学生が各テーブルを3分程度で質問して回る形式で行われました。学生からはどんな企業なのかの質問が多くありましたが、中には自分が今在籍している研究室で行っているカリキュラムでのアドバイスを求められたりもしました。学生との直接の交流等はあまりないので、新鮮な気持ちで接する事が出来ました。

昼食は、学校側が用意して下さり、学生・先生・同友会会員とともにビュッフェ形式でいただきました。その間もいろいろな交流があったようです。



昼食後は、同友会のグループディスカッション形式で、教職員と同友会会員で「中小企業の人材ニーズから見た大学における人材育成の在り方」というテーマでワークショップを行いました。この場では、先生たちがどの様な思いで、学生を指導しているか、企業側はどの様な思いで新入社員を教育しているか等様々な話をする事が出来ました。

最後に同友会と大学側から総評がありすべてのプログラムが終わりました。

同友会では、来年度から合同入社式や新人研修も企画されている中で、こういった合同ワークショップ等の機会は、とても参考になりました。このような機会



で情報や意識を共有する事によって、意識の違いを修正する良い機会だったと思います。

今回は、諫早支部が中心となって参加していましたが、今後はこのような機会には全県を巻き込んで行う事が望ましいと考えます。これを機に共育委員会等にもご協力を仰げればと思いました。

今回ご尽力いただいた、長崎ウエスレヤン大学の教職員の皆様、同友会会員の皆様本当にありがとうございました。

(文責 県情報広報委員長 永末 勝宏)

中村こずえ会員 他県同友会報告紹介!!



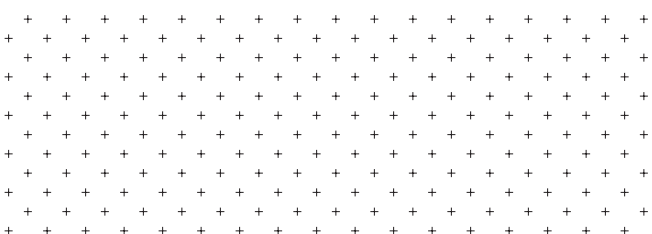
長崎支部出島地区会 中村 こずえさんが、2月9日富山同友会 新しい仕事づくり協議会例会にて「マックも動かした！新しいビジネスモデルの提案～40年間の戦力として！・・・共に学ぶ社風づくり～」をテーマに報告されました。

また、2月19日には熊本同友会 県例会にて「障がい者雇用から見えてくる企業づくり～知ることからはじまった～」をテーマに報告されました。どちらも大盛況のうちに終えたそうです。当日の写真が富山同友会と熊本同友会から届いておりますので紹介させていただきます。



中村さんには来期、県女性部会・障がい者問題担当委員長としてご尽力いただけることが内定しました。中村さん、よろしくお願い致します。

(文責 事務局 田口 友廣)



(有)山崎マーク(佐世保支部 山崎 秀平 会員)第27期 経営計画発表会 参加報告

日 時：2月20日(金) 会 場：魚魚の宿 参 加：佐世保支部会員



【参加者の声】

1、社長(山崎さんの父)の了解のもと、第27期(有)山崎マークの経営計画発表会が開催されて、とても嬉しいです。何事も第一歩が大切だと思います。この第一歩があれば、後は継続するだけです。この継続が夢ある良い会社になって行きます。ガンバレ (有)山崎マーク！

(株)長崎地研 村山 隆之

2、スポーツ店・同業他社などの現況(外部要因)、自社の強み弱み(内部要因)などの分析が口頭で説明されていたが、社員に解り易くするためには、成文化したほうがと思います。SWOT分析を各担当責任者と共に取り組みば実現できるのでは。さすがに女性中心の会社ですね、目標は…ダイエットと貯金が主流ですね。経営計画書のデザイン・レイアウトが素晴らしい！サッカーのフォーメーションに見立てた組織図に感心しました。

(株)広告のアクセス 山領 進

3、とても初めての経営計画発表会とは思えないほど、計画書の内容も解り易く大変良かったと思います。特に山崎さんの自社分析が素晴らしく、私も自社を見つめ直す必要があると思いました。

(株)昌明機工 中島 禎雄

4、山崎さんの経営計画書作成に向けての努力を社長が協力して、今回初めての発表会が開催され、社員もどういふものなのか解らないまま参加されているのかなと思いましたが、社風が出来ておられるので、全社一丸となってまた一歩前進されたように感じました。また、各社員が会社での目標と・プライベートの目標を発表され一人ひとりにスポットライトが当たることで、今後の貴社の成長力を感じました。

ニコット・サービス(有) 江口 陽一



5、初めて経営計画発表会に参加し、素直に自分が入社して社員旅行に行きたいと思えました。経営計画書のデザインにも山崎さんの拘りがあり、全社員に心地よい緊張感があり参加出来て良かったです。

(株)きゅーぶ 岡本 武志

6、会社の歴史を発表されている姿、とても良かったです。山崎さんが組織図をサッカーのフォーメーションで説明されている時の、各社員の反応がとても反響ありでした。

7、第一回目の発表会としては、上出来の発表会だった。それは、27期を迎える貴社の社風が成したものだろう。女性が多い会社で女性の特性を良くつかんで経営されている印象を持った。計画書デザインも山崎さんのご苦労がうかがえた。流石デザインの会社で視覚的に訴える素晴らしいものだった。来賓への粗品も貴社らしさが出ていて、いただいてとても嬉しかった。最後に写真コーナーもアイデアがあり真似したいと思った。

(有)プライアント保険 橋口 久

8、経営計画書は、とても貴社の個性が出ているもので感心しました。ビジョンについて、ワークショップ(夏休み等)家族で参加出来るイベントを開催し、メディア



に取材のオファーをされてはと思いました。単年度ビジョンだけでなく、3年後でも目指すところを成文化されたらと思います。とにかく、第一回目となる経営計画発表会おめでとうございます。貴社が第一歩踏み出されたことは、佐世保支部にとっても大きな第一歩

になりました。今後予定されている企業が10数社いらっしゃると思いますので。(自社も含めて)今後、お互い継続し理念経営の実現を共に目指しましょう。一緒にセミナー参加もしていただきありがとうございました。

(株)福祉工房K's 豊福 和明

第2回 中同協 4委員会合同研修・委員会 参加報告

日 時：2月4日(水)・5日(木) 会 場：東京/国立オリンピック記念青少年総合センター

『人を生かす経営』の推進に向けて



グループディスカッションが始まり、富山同友会の方から、『長崎同友会に障害者雇用に取り組み、[人を生かす経営]を実践している方がいらっしゃいますよね』と尋ねられました。私はハッハアーンこずえさんの事だなあと直感、『マクドナルドの中村こずえさんですよね』と答えました。すると、『そうそう一週間後、富山同友会で報告いただくことになっていますよ』事実を知らなかったことが少し恥ずかしかったのですが、中村こずえさんは、長崎同友会を代表する「人を生かす経営を実践される」経営者だと強く認識することが出来ました。

今回の合同研修・委員会は、人を生かす経営推進協議会の設立から5年が経ち、激しく変化する情勢と経営状況が厳しくなる中、4つの委員会活動の総合実践が特に重要となってきたことから開催されました。

4つの委員会とは、経営労務・社員教育・共同求人・障害者問題の各委員会の事です。各委員会が積み重ねてきた教訓と成果をお互いの委員会で確認と共有し、全国的に『人を生かす経営』を推進していくことが狙いです。

鋤柄会長は、経営者は目の前の業務対策だけでなく、10年後の戦略を考え、同友会で学び、社員さんに伝える使命がある。そのためには、まず経営者が健康であること、会社も健康であること、そして家族も健康であることが重要である。との挨拶から始まりました。

広浜幹事長の『人を生かす経営の実践とは』次に、佐藤副会長の『人材不足の時代にどう対応するのか』



と題した二つの問題提起は、企業の永続的経営と同友会運動の発展との密接な関係について、詳しく学ぶことが出来ました。特に同友会理念の実践について、自分自身できちんと整理できるようになりました。

具体的には、昨年、長崎同友会から発行された『会員名簿と活動の手引き』をご覧ください。119ページを見ると「同友会理念」についての記載があります。内容は会の目的、性格、基本となる考え方が解説されています。私は入会后4年間『目的』だけに軸足を置いて活動していました。『性格』と『基本』に目を向けていませんでした。というより理解できていませんでした。

よい会社をつくる。よい経営者になる。よい経営環境をつくる。この三つの目的と「自主」、「民主」、「連帯」の精神と「地域と共に歩む中小企業」について、マトリックスを使うことで、一つひとつの同友会理念を関連づけながら、実践に向けた課題を浮き彫りにすることができると気付かされました。

また、経営労務委員会の活動は、経営指針書だけではなく、同友会が発行する企業変革支援プログラムを使って自己診断という形式で、自社の経営課題を明らかにすることも大事な活動です。今後は自社でも社員さんに自己診断してもらう新たな目標に取り組みたいと思います。

最後になりますが、中同協第47回定時総会議案書案から、2015年度の『人を生かす経営』の総合実践に関する課題と活動方針(抜粋)を記載いたします。

- 1、同友会らしい経営指針にもとづく経営実践を推進。
- 2、社員と共に～共同求人活動の強化と社員教育活

動の充実。

- 3、障害者雇用の推進と労働環境の整備から、だれもが生きがいを持って働ける社風に。
- 4、女性の活力推進で企業づくりに生活者の視点を。
- 5、「第4回人を生かす経営全国交流会」をアピールする。

特に経営・労務担当委員会は、経営指針成文化と実践運動の推進で、「経営者の自己変革」を促し、10年後の会社のビジョンを社員さんと共につくり、実践する。

また、「企業変革支援プログラム」で、セルフアセスメントと経営指針見直しなどで、企業づくり運動のPDCAの実践に向け取り組みたいと思います。

あらためて、研修・委員会に参加させていただいたことで、中同協の方針に沿った同友会活動の重要性を認識いたしました。以上、参加報告とさせていただきます。

(文責 経営・労務担当委員長 吉澤 健)

松浦市中小企業振興基本条例制定記念講演会(松浦市主催：同友会共催) 報告

日 時：2月16日(月) 3時30分 会 場：松浦市生涯学習センターきらきら21



2014年2月に「松浦市商工業ビジョン」を策定し、また2014年12月に「松浦市中小企業振興基本条例」が施行されました。その12条には「松浦市中小企業振興会議」設けて4月から15名でスタートすることになりました、北松浦支部からは2人ほど参画します。

そこで、今回は振興条例の制定の周知と地域が一丸となって進むべき方向を模索するべく、エコノミックガーデニング手法「企業家精神あふれる地元企業が繁栄し長生きできるように地域のビジネス環境を整備すること」をテーマに松浦市が講演会を開催しました。(同友会共催)

拓殖大学 山本尚史教授の講演は理解しやすく、パワーポイントで要点をまとめた内容で、公聴者からもちたいへんわかりやすいと好評でした。

地方都市の課題は 1 限界企業、2 事業承継の低調、3 第2次産業での雇用縮小、4 第3次産業での非正規雇用の拡大、5 所得の減少など、非正規200万円以下、正規雇用200万円から300万円と地域企業と地域経済の悪循環でゾッとする未来でした。限界集落の言葉は知っていましたが、限界企業の言葉は衝撃でした。以前買い物難民の高齢化集落の話もありましたが、中小企業にとっては仕入れ難民事業者が仕入れコスト

の上方に気付かないまま、事業倒産に至ったケースはたくさんあります。消滅危惧自治体、1 地域社会の縮小、2 地方の基礎自治体の機能低下が招かれています。

そこで、今必要なことは地方都市再生のために、1 地元の事業者の内発的発展、2 事業者が自らを「高付加価値化する」、3 地域内資金循環が必要であり、中小企業振興基本条例と企業変革支援プログラムとエコノミックガーデニングが三点セットであり、条例は出来ても具体的に枠組みが無ければ実際に中小企業の振興を図ることはできない、つまりビジョン作りであり、街づくりにも経営指針づくりが必要であると感じました。

条例は「OS」でエコノミックガーデニングは「アプリ」です。各地域にカスタマイズした「アプリ」が地域経済づくりには必要です。コロラド州リトルトン市では15年で就業者数130%増、市の税収190%増、フロリダ州では3年間で就業者数112%増、支払い給与113%増の事例でした。

「日本では鳴門市、大阪府が動き出している。現在はソーシャルメディアの活用、特に動画が伝えやすい、若者は文章を読まない。双方向の情報力強化、ビッグデータの活用、地理情報システム、統計データを地図上に表示、ライフスタイルの分析との連動、商圈分析店舗立地計画、営業活動など、またコーチング、メンタリングなど長期的に取り組んで、大切なのは 1 経営者のスキルアップ、2 ビジネスチャンスの洞察、3 資金が確保される、4 事業承継が上手くいく。進取の精神が旺盛な中小企業が長生きして繁栄するようなビジネス環境をテラーメイドで構築すること」とのことでした。中小企業憲章はもちろんですが、このエコノミックガーデニング手法の導入についても全国の各同友会が活躍しているとのことで、企業変革支援プログラムは中小企業の経営チェックができて経営改善には必要ですとのことでした。いろんな意味で中小企業家同友会の意義を感じることでできた講演でした。

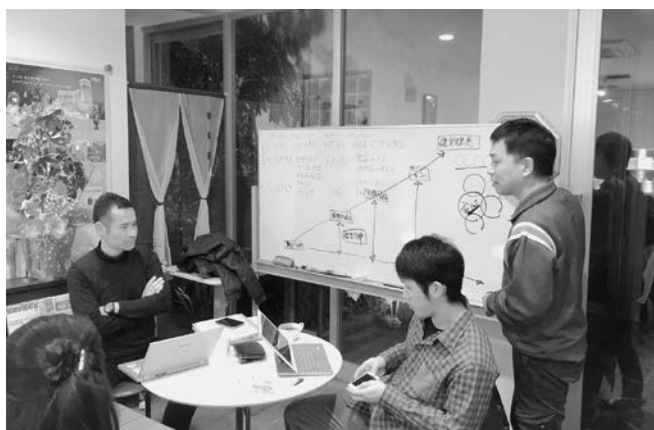
また、松浦市においては山本先生の3つ目の取組自治体として3か月に1度くらいはエコノミックガーデニング手法を取り入れて振興会議のお手伝いに参加していただくことになっております。

今後の具体的課題の抽出と分析手法を駆使してデータの収集に徹底し、ソーシャルでの情報発信、

共有などなど市民総ぐるみの街づくりの基本ベースに必要な要綱が示されており人のつながり、同一認識の基本になることの大切さを再認識できた講演会でした。

(文責 北松浦支部長 池野 晋一)

島原支部 経営指針作成勉強会 報告



島原支部では経営指針作成勉強会を毎月1回経営労務委員会と仲間づくり委員会で開催しています。参加メンバーは10名程度、参加者は支部会員は勿論、会員以外の方も可能にして自学形式で行っています。

目的としましては、①福岡同友会あすなろ塾及び経営指針作成セミナーに参加したメンバーはその後のフォローアップ②あすなろ塾及び経営指針作成セミナーに参加していないメンバーは参加者からレクチャーを受けながら参加の準備をする。③仲間づくり(会員以外の方も参加可能にすることでこの勉強会を通して語り合い仲間づくりを行っています)

経営指針作成勉強会を開催してからの気づきですが①のあすなろ塾及び経営指針作成セミナーに参加したメンバーのその後のフォローアップですが、参加メンバーの方からもなかなか一人では時間を作れていなかったが勉強会という形で開催することによってキッチリ毎月経営指針の見直し等が出来て良かったと好評をいただいています。

②のあすなろ塾及び経営指針作成セミナーに参加していないメンバーは参加者からレクチャーを受けながらの準備をする。ですが支部の仲間にレクチャーを受けて準備をして、あすなろ塾及び経営指針作成セミナーに参加することでセミナーがより良い効率で学習出来ています。勉強会を行ってからセミナー参加者数が島原支部では飛躍的に増加しています。

③の仲間づくりですが実際に1名の入会が決定しています。それと例会にオブザーバーでいらっしゃった方をこの勉強会に誘ってまた入会していただくようにも考えています。



このように一石三鳥の勉強会ですので是非他支部でも行っていただきスキルアップと仲間づくりに繋げていきましょう！

(文責 横田 健)

投稿募集のご案内

DOYU ニュースでは会員の皆様の投稿を募集しております。
企業訪問や支部・地区会等の行事や取り組みなどご紹介下さい。

●文字数/約500字

●画像/歓迎します

☐掲載/情報広報委員会にて選考

☐投稿先/情報広報委員または同友会事務局まで

☐メール/jimu@nagasaki.doyu.jp



第 6 回増強ウィーク 開催報告

第 6 回増強WEEKに対し、会員の皆様ご協力ありがとうございました。

増強 WEEK 支部・地区会賞 優勝第一位は島原支部、第二位は大村支部、第三位は北松浦支部でございました。個人賞は第一位 松尾 慶一 会員(佐世保支部)、第二位 堀池 充保 会員(佐世保支部)、第三位 荒木 博 会員(島原支部)の方々です。ご尽力ありがとうございました。

今期目標 600 名に対して各支部・各地区会承認のもと、3月26日受付まででございます。

今回の増強WEEKから活気は違った上げ潮状況です。今回は増強WEEK開催前に増強キャラバンを開催し各仲間づくり委員長は手分けしてハッピーを着て回らせていただきました。

会員の皆様の熱気・熱意を肌で感じお力をいただきました。今後の展開、もっともっとお力をお貸しくださいませ。今期 600 名達成し、来期は 700 名に繋がる勢いでご協力よろしくお願いいたします。

(文責 県仲間づくり委員長 杉本 誠二郎)

会員活躍

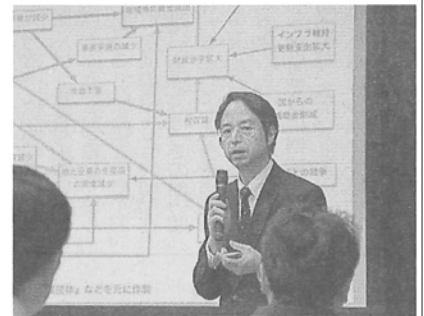
長崎新聞
2月26日
松浦市中小企業振興基本
条例制定記念講演会

島原支部
平湯 康一郎 会員

プロメカニックの厳しい要求に応える自動車工具・輸入工具の「マックツールズ」は、毎年本社があるアメリカで優秀販売代理店授賞式を開催している。今年度は我々が島原支部の平湯さんが日本 2 位の販売実績を上げ、表彰されました(マックツールの代理店は全国 140)。
先日、島原市市内でも報告され、我らにも多くの感動をいただいた授賞となりました。

「E G」使い地域活性化

松浦・中小企業振興条例記念
拓殖大 山本教授が講演



エコノミックガーデニングによる経済活性化策について話す山本教授
—松浦市生涯学習センター「きらきら21」

松浦市中小企業振興基本条例の制定を記念した講演会がこのほど、同市志佐町の市生涯学習センター「きらきら21」であり、拓殖大経済学科長の山本尚史教授が「エコノミックガーデニング(E G)」という手法

「E G」は既存の中小企業が地域で長く繁栄できるような、行政や金融機関、経済団体などが協力してビジネス(E G)という手法を使った地域経済の活性化について説明した。E Gは既存の中小企業が地域で長く繁栄できるような、行政や金融機関、経済団体などが協力してビジネス(E G)の活用などをアドバ

(山里悠太郎)



事務局企業訪問

佐世保市白岳工業団地の一角に事業所を構える、佐世保支部 昌明機工(株) 代表取締役 中島禎雄さんを訪問させていただきました。

昌明機工(株)は1963年8月に鉄工業(製缶加工)として創業、離島の発電所の煙突などの製作や製鉄所向け設備の製作、ボーリング工事向け機械及び櫓(やぐら)の製作をされています。同じく佐世保支部の村山会員((株)長崎地研)が伊王島温泉掘削の際に使用した櫓(やぐら)も中島さんの会社で手掛けました。

中島さんは広島の実生まれ。小学5年生まで佐世保で育ち、小学5年から23歳まで広島で過ごされ、1984年に再度佐世保に移り住むことをきっかけに昌明機工(株)に入社、2002年4月に先代社長他界のため代表取締役に就任されました。

<理念の作成>

中島さんが同友会と出会ったのは、先述の村山さんから誘われた2003年に長崎市で開催された経営フォーラム参加がきっかけでした。その1か月後には経営指針作成セミナーに参加し、理念を作成されました。セミナーではヘルニアを発症したため最終日は早退して翌年の5月には手術を受けることになりました。手術後はあまり例会にも参加はしなかったのですが、とあるセミナーに参加した時の講師がたまたま東京同友会の会員で「同友会は役員になって参加したほうが勉強になる」と言われたのをきっかけに役員会にも積極的に参加するようになったそうです。

入会後すぐに作成した理念もたびたびブラッシュアップされ、今では佐世保支部の山領さんに依頼をしてパネルにしました。このパネルを食堂に飾り、目につくようにすることで社員の方へ理念が浸透するようになったそうです。文字だけでなく分かりやすくイラストも入れることで、より理念の理解も深まり、理念があることによって判断基準を示すことにもつながりました。

<3Sの実践>

リーマンショックで仕事量が減り不安に感じていた時に、Doyu News(2009.07.22)のメールを見ました。そこには「3S(整理・整頓・清掃)の実践」という大阪同友会の(株)山田製作所 社長 山田茂さんの記事が掲載されていました。売り上げが落ちていき不安を感じていた時に「3Sの実践」に取り組んで変わっていったという記事を読み、どうせ暇になるなら余った時間で何かをしようと考えた中島さんは、2度に分けて社員全員を引き連れて企業訪問をし



ました。長崎に戻った後、自社にインストラクターを迎え3Sを実践。その結果として不況の中でも社員さんの士気が下がることなく、社員もモノを大切に扱うようになりました。またモノがどこにあるか分かることで作業効率もアップ。古い工場ですが整理整頓を行うことで見栄えも良くなり、お客様の見方も変わり、お褒めの言葉をいただくまでになりました。そして顧客への信頼にもつながり、受注量も増えたそうです。

今回の企業訪問で中島さんの「新たな取り組み・考え」を柔軟に受け入れ、即実践されたという貴重なお話を聞かせていただくことができました。また、私は「汚いところから綺麗なものはできない」という中島さんの言葉が、とても耳に残り、3Sにぜひとも取り組んで、少しでも局内環境を良くせねばと気持ちが改まりました。

中島さんは来期佐世保支部長に就任予定です。同友会活動・本業ともにさらなる活躍を祈念いたします。

<昌明機工(株) 経営理念>

「人が喜ぶものづくり」～私たちは“もの”をつくることで人とふれあい感謝して喜びを分かち合います。経営理念のイラストにはらせん状につながる人が書かれています。

これは無限につながる「幸せ」の螺旋を表しています。昌明機工(株)が“もの”をつくることによって生まれた「喜び」は、社員の家族やお客様、協力会社など、昌明機工(株)に関わる全ての人へと伝わります。そしてその「喜び」によってできた“人”と“人”とのつながりは、大きな大きな「幸せ」へと成長していきます。

(文責 事務局 田口 友廣)

(敬称略)



Dr. Shiro Kikuchi is a Professor of the Department of Health, Behavior, and Society, Johns Hopkins University. He is also a senior advisor at the Center for Communications Programs. Dr. Kikuchi has been involved in numerous international health communication projects, including the development and implementation of the "AIDS Risk Reduction" program in Japan and the "AIDS Risk Reduction" program in the United States. He is also the author of several books and articles on health communication.



A 10x10 grid of plus signs (+) on a white background. The grid is composed of 10 rows and 10 columns, totaling 100 plus signs.

●佐世保支部

日 時 4月24日(金) 午後7時
会 場 グランドファーストイン 佐世保
内 容 支部総会

●北松浦支部

日 時 4月22日(水) 午後7時
会 場 酒の一斗 吉井事務所
内 容 支部総会
新入会員フォローアップ

●五島支部

日 時 4月23日(木)
会 場 はたなか
内 容 支部総会

●青年経営者会

日 時 4月21日(火) 午後7時
会 場 同友会事務局
テ マ 『私の履歴書』
報 告 者 青年経営者会 会長
山口 善也 会員

3月理事会 議事録 抜粋

3月3日(火) つくば倶楽部

杉本仲間づくり委員長総括

増強 WEEK は大変お疲れ様でした(支部賞、スポンサー賞の発表あり)。リズムが次第にできてきた。来期700名に向けて皆様の士気も上がってきている。表彰も総会で行いますのでぜひよろしく願います。

協議・承認事項

1) 2015年度に向けて

●ダイバーシティ委員会について

名称を「女性部会・障がい者問題担当委員会」とする

→三役会案を承認

●第44回定時総会について

(今回提案事項)

・記念講演テーマ「人が活きる会社になりたい」

・式次第案

→開始時間を14:00、第1部にて退任・新任役員挨拶、第3部のイベントとして支部長(支部代表)から一言、その他新設委員会、仲間づくり委員会、フォーラム担当支部からの一言を設ける

→上記記念講演テーマ、式次第案を承認。オブザーバーに関しては記念講演のみの参加は無料とし、懇親会参加であれば4,000円いただく。また案内チラシに関して動員を図るようなデザインではないとの指摘を受け、情報広報委員会を中心によりよいデザインに仕上げる。

・議案書名刺広告募集案内確認

→30社を予定しているが超えた分に関しては締切スケジュールを見ながら極力掲載する

→今後広告のあり方(サイズ・デザイン・料金)は検討していく方向性。今回は先月の承認事項でもある上記案を継続して募集する

・二次会案内確認

→事務局で調整後、再度メーリングで連絡

●県委員会活動方針案について

→役員研修会を受けて最終3月理事会にて確認(間に合わなければ理事会メーリングにて確認)

→上記を確認。変更・修正がある場合は3月10日(火)までに理事会メーリングを行うことを確認。

※来期、町田政策委員長から大村支部宮田会員へ委員長変更の提案があり、承認

●2016年賀詞交歓会について

開催のメリット…仲間づくり、来賓とのふれあい、他支部との交流

デメリット…経費の圧迫、会員負担増

→上記をもとに三役で検討。継続して行うことで各メディアに対するアピールや行政その他団体に認知度を高めることができる。今後総会同様、動員目標を必達するという設定を行った上での予算計上を行い、賀詞交歓会を開催する方向

→三役会案を承認。日程に関しては調整後事務局より連絡

●支部移動会員について(報告)

・林 昭彦 会員 長崎支部 出島地区会 → 長崎支部 浦上地区会

2) 理事選考規定について

(三役会案)

規定内から人数を削除する

→事務局で「若干名」などの表記を再検討しメーリングで提案

3) 3月中入会申込書をメーリングにて承認するかどうかの確認

→年度末ぎりぎりまで目標に向けて動く。また3月例会を着地点としオブザーバーの入会を期待する意味も込めて3月27日(金)の理事会メーリング分までを対象とする。また事務局が入会手続きにうかがえない場合、3月31日(火)までに入会金、月会費を振り込みいただく

報告・連絡事項

1) 例会について(更なる例会の充実をめざして) - 尾崎例会委員長

→各支部の出席率が伸びない中、島原支部は返信率100%をずっと保ってきている。また例会出席率も60%を超えているため何か秘訣があるのではないかと。また出島地区会の3月例会の報告者が役員一同となっている

(上田支部長より)

特別何かしているというわけではない。例会委員長を中心に各グループが機能していると思う。エリアでのグループ割にしているため車で乗り合わせて例会に参加するケースも増えてきている

(山口フォーラム実行委員長※出島地区会例会委員長)

今期は5月例会にてどのような例会を企画していくかという例会を行ったが今回は3月に行い、来期の例会企画に生かしていく

2) 増強 WEEK 結果報告 - 総会第3部にて表彰を行う予定

3) 役員研修会報告

(参加実績)

	理事	浦上	出島	大村	諫早	島原	佐世保	北松浦	五島	合計
登録	15	4	7	11	12	5	2	1	1	58
参加	15	4	6	11	11	5	2	0	1	55

4) 春闘共闘会議参加報告

→(金井副代表より)

2月19日に開催。先方から9名参加。同友会は労使見解に基づき外形標準課税適用拡大への反対、条例制定運動など多岐にわたって活動していることをアピール。春闘側も外形標準課税適用拡大

- 署名への協力もいただいた
- 5) 2月20日中同協広報委員会松尾代表事例報告結果
- 6) 松浦市条例制定記念講演開催報告
→2月16日に開催。70名ほどの参加をいただきわかりやすくエコノミックガーデニングの話をいただいた
- 7) 全国大会補助費等振り込みの件
→事務局に現金を置かない、支払いの証拠を残す意味で上記を振り込みに行っている。各支部役員会等で周知をお願いします
- 8) 内規集確認
→今までの内規集。年度末に一度確認を行います。支部役員会等で周知をお願いします
- 9) 名誉会員・功労会員制度について
→取り下げることを報告
- 10) 3ヵ月間会費滞納者について－該当なし
- 11) 2017年中同協役員研修会について
長崎での開催が決定したが日程は未定
- 12) 2019年 中小企業問題全国研究集会(全研)について
ホテルニュー長崎…立食1000名、椅子800名、分科会対応約5室
ベストウエスタン…立食1000名、椅子900名、分科会対応最大6室
※中同協確認事項最大1000名(上限を設ける)でも全国大会開催可能
→ランタンフェスティバルと日程を合わせることも検討。
各ホテル、旅行代理店等に徐々にヒアリングを開始する
- 13) その他
・五島支部において3月例会の報告者、日程変更に対する説明を森支部長よりいただいた
(松尾代表より)
・仲間づくりに向けて3月の例会を最終着地点としてよろしくをお願いします
・役員研修会でもあったように各支部の役員会や委員会を企業訪問形式で行うことをぜひ検討をお願いします
- 決議事項確認
・19名の入会、2名の復会、1名の交代、5名の退会を承認
・ダイバーシティ委員会について
名称を「女性部会・障がい者問題担当委員会」とすることを承認
・第44回定時総会について
・記念講演テーマ「人が活きる会社になりたい」

- ・式次第案
→開始時間を14:00、第1部にて退任・新任役員挨拶、第3部のイベントとして支部長(支部代表)から一言、その他新設委員会、仲間づくり委員会、フォーラム担当支部からの一言を設ける
→上記記念講演テーマ、式次第案を承認。オブザーバーに関しては記念講演のみの参加は無料とし、懇親会参加であれば4,000円いただく。また案内チラシに関して動員を図るようなデザインではないとの指摘を受け、情報広報委員会を中心によりよいデザインに仕上げる。
・動員目標
・議案書名刺広告募集案内確認
→30社を予定しているが超えた分に関しては締切スケジュールを見ながら極力掲載する
→今後広告のあり方(サイズ・デザイン・料金)は検討していく方向性。今回は先月の承認事項でもある上記案を継続して募集する
・二次会に関して、事務局で調整後、再度メーリングで連絡
・県委員会活動方針案について
→役員研修会を受けて変更・修正がある場合は3月10日(火)までに理事会メーリングを行うことを確認
・来期、町田政策委員長から大村支部宮田会員へ委員長変更の提案があり、承認
・2016年賀詞交歓会について
(三役会案)
開催のメリット…仲間づくり、来賓とのふれあい、他支部との交流
デメリット…経費の圧迫、会員負担増
→上記をもとに三役で検討。継続して行うことで各メディアに対するアピールや行政その他団体に認知度を高めることができる。
今後総会同様、動員目標を必達するという設定を行った上での予算計上を行い、賀詞交歓会を開催する方向
→三役会案を承認。日程に関しては調整後事務局より連絡
・理事選考規定内人数表記にについて、事務局で「若干名」などの表記を再検討しメーリングで提案
・3月中入会申込書をメーリングにて承認するかどうかの確認
→年度末ぎりぎりまで目標に向けて動く、また3月例会を着地点としオブザーバーの入会を期待する意味も込めて3月27日(金)の理事会メーリング分までを対象とする。また事務局が入会手続きにうかがえない場合、3月31日(火)までに入会金、月会費を振り込みいただくことを確認

次回日程…4月8日(水) 19:00～ プライムステージ

会員消息

●企業住所等変更

山田 康成 会員 (諫早支部)
新企業名: (株)ライフプラザパートナーズ
新役職名: ファイナンシャルアドバイザー
新住所: 長崎市銅座町4-1 リソナ長崎ビル4F
新電話番号: 095-808-5957
新FAX番号: 095-816-0160

豊福 和明 会員 (佐世保支部)
新企業名: (株)福祉工房 K's
新役職名: 代表取締役
(上記以外は変更なし)

勝本 政裕 会員 (五島支部)
新住所: 〒853-0017
五島市武家屋敷1丁目5-35

森 勝昭 会員 (五島支部)
新住所: 〒853-0031
五島市吉久木町700-3

会 員 数 (3月1日現在)

	長 崎	(浦上)	(出島)	大 村	諫 早	島 原	佐世保	北松浦	五 島	合計
目標	227	127	100	67	80	50	120	40	40	624
期首	201	115	86	57	54	40	99	33	25	509
現在	197	110	89	61	62	37	111	43	24	537

退 会 者 (敬称略)

会 社 名	会 員 名	支部・地区会名	入会年月
(有)山崎総業	山 崎 功	長 崎 ・ 浦 上	2008年 2月
プリンセスネット(株)	飯 田 昭 男	長 崎 ・ 出 島	2012年 9月
ながい屋酒店	濱 里 常 吉	長 崎 ・ 出 島	2014年 1月
おぐり設備設計室	高 橋 晴 男	諫 早	1999年11月